



Title	職場・業務紹介 情報処理施設・世代短縮研究温室
Author(s)	館下, 秀敏
Citation	北海道大学農学部技術部研究・技術報告, 1, 73-73
Issue Date	1994-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35279
Type	departmental bulletin paper
File Information	1_p73.pdf



情報処理施設・世代短縮研究温室 館下 秀敏 (技術部 作物・分析系 共同利用班)

◆職務内容

昭和60年7月に北海道大学農学部採用となり世代短縮研究温室を担当していましたが、昭和63年より情報処理施設(教官と院生のための研究用と学生の教育に使う教育用があります。)も担当することになり現在に至っております。

◆仕事内容

情報処理施設…機器の管理、ソフトのインストール、ソフト及びハードの環境設定
操作マニュアル作成、ハードディスク内の整理、ソフト及びデータのバックアップ等
世代短縮研究温室…施設の維持・管理をしています。

◆施設、設備、面積等

研究用情報処理施設

NEC PC-9801 DA~HINES(無手順)、附属図書館のCD-ROMマルチ検索システム
カレントコンテンツ検索システム

NEC PC-9801 DA~HINES(無手順)、MS-Windows

NEC PC-9801 VM~画像処理装置(NEXUS)、HINES(イーサネット)

NEC PC-9801 VM~HINES(無手順、イーサネット)

NEC PC-9801 VM~4台 日立 ワークステーション2020~4台

ヒューレットパカード HP-9000とMacintosh Quadra700が1台という構成です。

教育用情報処理施設

平成5年の春に、すべて端末が入れ替わり、日立 Flora3020が31台、日立ワークステーション3050が3台という構成になりました。全端末が HINESにイーサネット接続されておりセンターの利用ができます。また、Flora3020はMS-Windows3.0がインストールされておりワープロ・表計算・データベース等、ローカルでの利用もできます。

世代短縮研究温室 全体1341㎡ (温室895㎡ その他446㎡)

◆悩みや困っていること(研究用情報処理施設について)

研究用情報処理施設の利用形態をみてみますと、ワープロ、表計算が主流を占めています。講座単位ではなかなか揃えることのできない高額な機器、画像処理装置、プレゼンテーション資料作成機器(フィルムプリンタ、スキャナ等)等、利用者が必要としている機器が不十分であるということです。

◆今後の方向または希望(研究用情報処理施設について)

最近パソコンのOSが従来のキーボードでコマンドを入力する方式から、初心者や、マニュアルを読まなくても何とか使えてしまい、マウスでほとんどの操作を行う GUI(グラフィカルユーザーインターフェイス)を利用したWindowsやMacintosh等へと変わりつつあります。当施設もその方向でパソコンの更新を考えています。

平成4年度より農学部でも Hinesが利用できるようになり、平成5年12月現在で利用登録者が223名、加入端末が147台になりましたが、有効に使われている方はまだまだ少ないようです。特に、N101室に設置されている Hines回線より利用できるPostScriptプリンタ2台、フルカラープリンタの利用が少なく、高品質な出力ができるプリンタですのでより多くの方に利用していただきたいと思います。